

令和7年3月

秩父市教育委員会 定例会 議事録

開 会 : 令和7年3月25日(火) 午後3時00分
閉 会 : 令和7年3月25日(火) 午後4時25分
会 議 場 : 歴史文化伝承館2階会議室

出席委員 : 1番委員 大島 隆芳
2番委員 浅海 純一
3番委員 萩原 重範
4番委員 土橋 慶子

出席者 :	教育長	前野 浩二
	事務局長	笠原 義浩
	事務局次長兼学校指導監	飯野 芳伸
	事務局次長兼保健給食課長	杉田 直之
	学校教育課長	磯田 欣央
	文化財保護課長	伊藤 暁
	教育研究所長	佐々島忠重

書 記 : 教育総務課主査 楮本早紀子

1 開会宣言

教 育 長 : 令和7年3月教育委員会定例会の開会を宣言する。

2 署名委員の指名

教 育 長 : 本会議の議事録署名委員として、2番委員及び3番委員を指名する。

3 会議の公開

教 育 長 : 本会議は、公開とすることでよいか。
(「異議なし」の声あり)
異議なしと認め、公開とする。

4 前回会議の議事録の承認

令和7年2月21日に開会された2月秩父市教育委員会定例会議事録の朗読を事務局が行い、出席者の異議なく承認された。

5 報告事項

(1) 教育長及び各委員からの報告事項

教 育 長 : 寒暖差が大きく、降雪により、学校の始業時刻の変更を余儀なくされた3月であった。委員の皆様には、大変ご多用の中、各中学校及び小学校の卒業証書授与式への対応に感謝申し上げます。また、久那幼稚園の3名の修了証書授与式及び閉園式が、3月19日に無事に終了した。久那幼稚園は、開園以来55年間で、655名の卒園生がそれぞれの小学校に入学した。どの学校も少ない時間の練習であったと思うが、卒業生の母校を誇りに巣立っていく立派な姿、在校生の感謝の気持ちで送り出そうとする姿など、教職員の指導の成果が現れた厳粛な大変素晴らしい儀式であったと思う。参加職員からもそのように報告を受けた。

1点報告する。

高等学校の入学者選抜の関係を報告した結果の詳細についてである。

まず、中学校卒業生491名の進路状況について、埼玉県立高等学校・特別支援学校進学が367名(74.75%)、埼玉県内私立高等学校進学が77名(15.68%)、埼玉県外公立高等学校進学が1名(0.20%)、埼玉県外私立高等学校進学が13名(2.65%)、通信制高等学校進学が28名(5.70%)、家事手伝いが4名(0.81%)、進路未定者が1名(0.20%)となった。進路未定者について

ては、社会的自立を目指した進路指導をお願いしている。また、小学校卒業生の12名が、私立中学校へ進学する手続きが完了している。

各学校は、管理職のリーダーシップと教職員の結束、保護者や地域の方々の協力を得て、様々な教育活動を展開し、成果を残し、3月26日の修了式をもって一区切りとなる。令和7年度は、小学校入学予定児童が351名、中学校入学予定生徒が456名、児童数は13校で2,423名（前年度比－122名）、生徒数は8校で1,330名（－31名）、合計3,753名（前年度比－153名）でスタートする予定である。毎年100名を超える児童生徒数の減少が、ここ何年か続いている状況であるが、学校規模も小さくなる学校も多いので統合等も考えていく時期に来ているかと思う。

- 1 番 委 員 : 3月14日、吉田中学校の卒業証書授与式に参加し、3月24日は花の木小学校の卒業証書授与式に参加させていただいた。教育委員最後の年なので、おそらく私の母校に行かせていただいたと思い、嬉しく、晴れやかな気持ちで参加をしてきた。

吉田中学校25名の卒業生が、恒例の「旅立ちの日に」を歌ったが、間奏のときに、ご両親に向かって、何名かがスピーチをしていた。ほとんどの生徒が涙する場面があり、私もそれを見てもらい泣きをした。

一方、花の木小学校は、57名の6年生が卒業されて、授与式では1人ずつ、壇上で自分の長所や得意なことを短くスピーチするという場面があった。また、令和になって初めて、在校生と卒業生で、掛け合いを行ったということで、私たちが知っている卒業式らしい卒業式を体験させていただいた。

どちらの児童生徒も、これからの新しい環境で頑張っていたきたい。

- 2 番 委 員 : 卒業式に出席した感想を述べたいと思う。3月14日については、尾田蒔中学校に行った。卒業生が男子9名、女子11名の20名であった。来賓は、コロナ以前の形なのか、町会長、警察関係者、郵便局長など多くの地域の方を招いていた。卒業生たちは小学校から9年間ずっと一緒に過ごした子どもたちで、何か一体感がある感じがした。その代表的な場面が、卒業生代表の答辞だった。本来だと、生徒会長とか生徒会役員がやるのが通例だが、卒業後に自らの夢を達成するために、遠方の高校へ通う子が1名いるようで、その子にこの晴れの舞台を任せたということを聞いた。答辞をした子も、感謝の気持ちを伝えながら泣いてしまい、言葉が出ない時間があったりして、それを聞いている同級生たちもやっぱり温かい眼差しで、その壇上のクラスメートを見ていると、一体感があるという感じがした。

昨日、24日は秩父第一小学校の卒業式に参加した。第151回の卒業式ということで、学校の歴史を感じるとともに、今回の卒業生が

26名で伝統校でも、少子化の波が押し寄せているということを感じた。来賓は、私と市議会議員の2名のみで、この来賓をどのように招待するのかは、その学校の思いがあって検討されていると思うが、地域との連携とかも踏まえつつ、児童に長い時間拘束するのは酷だろうということで、来賓を少なくする配慮なのかなということもあり、いろいろ難しい部分があると思う。地域の関係をどう汲み取るかということは、前例踏襲ではなくてもいいと思うが、毎年よく考えて、式を実施した方がいいのではないかと、私は昨日感じた次第である。昨日の卒業式で、一番、私が印象に残ったのは、先ほど1番委員さんがおっしゃった、別れの言葉の在校生、卒業生の掛け合いで、かなり堂々と6年生は気持ちのこもった言葉を発していたのが印象的であった。それから、卒業式の会場の外に、卒業証書を拡大したパネルが置いてあった。卒業証書と書いてあり、その隣が本来だと名前が書いてあるが、そこが空白になっていて、式の後、そこに卒業生が立って、親が写真を撮って卒業証書になる。PTAと学校がこのようなことをやってるのかなという印象を受け、来年も使えるのではないかなと思った。両校の卒業式に出席して感じたのは、小規模校ならではの、先生方が児童生徒一人一人に寄り添った教育をされている点は良いと思った。校長先生をはじめとして、眼差しが暖かいなと思った。これも、教員の立場から言わせると、6年間楽しいことだけではなくて苦しいことも、児童生徒と関わり合っていくなかで、教師をやって良かったというのも、あの瞬間に味わうのではないかなと感じた次第であった。もう一方で、両校とも「旅立ちの日に」は、これからずっと歌い継がれていってほしいと感じた2日間であった。

3 番 委 員 : まず、令和6年度もあと数日のところまできた。教育長をはじめ、教育委員会事務局の方には教育委員会に関わる所掌事務に尽力いただき大変感謝申し上げます。

私も大田中学校と影森小学校の卒業式に参加した。両校ともに、私が何回もお願いした国旗国歌の問題についても、式場には国旗、式次第が掲げられて、また教員指導・指揮指導のもとに、国歌斉唱が行われ、両校とも素晴らしい卒業式であった。厳粛のうちにも、登壇して卒業証書をいただく、児童生徒の姿も堂々として、両校共に感動的な卒業式であった。先ほど大島委員さんも言われましたが、私も大田中学校では、17名の卒業生ですが、ずいぶん泣かされまして、保護者の皆さんも本当に涙、涙の素晴らしい卒業式であった。それだけ子どもたちも、母校に寄せる思いというか、6年、9年間一緒に学んできた仲間、あるいは先生方、地域の皆さんも含めて、そういう方々の中で、この日を迎えるということは、大変、感極まるものがあつたのではないかなと思う。そして先ほど浅海委員さんからもあつたと、卒業式の形態もいろいろある

が、その中で、代表者を1人出すという形のものでなくて、全員で言葉を繋いでいく、特に影森小学校では送辞、答辞という形ではなかった。在校生と卒業生が掛け合いという形で、お互いに呼びかける、あるいは答えるという形で大変素晴らしいエールの交換になり、非常に感動的であった。

4 番 委 員 : 今年委員になって、初めての卒業式に参加した。3月14日荒川中学校、3月24日久那小学校の卒業式に参列した。どちらの学校も在校生が卒業生に向けたメッセージなどで飾られていた。式の内容も、卒業生、在校生の呼びかけ、歌などもあり、良い式典であった。保護者も、ご両親などで参加している方も多かった。

久那小学校は今年150年の節目の年で、特に皆さんの言葉の中に、150年の節目のよい年に卒業できてという、お祝いの言葉などもあった。小規模校ならではの、中学校へ行っての抱負を話したり、卒業証書授与の際に、校長先生から一人一人への声かけがあったり、保護者謝辞で卒業生の声かけなどもあり、和やかな雰囲気で行われていた。中学校の規模の大きい学校では、在校生の後に保護者が座っているため、自分の子が遠くて、よく見えなくて残念だったという声も聞いている。私自身も委員になった初の卒業式で緊張もあったが、祝辞・お祝いの言葉が無事にでき、参列できたことがよかったと思う。

2点目、令和7年4月より小中学校の給食費無償化のお知らせが届き、この物価高の中、とても助かる。特に兄弟がいる家庭では助かるという声を聞いている。

3点目、3月初め、尾田蒔小学校の4年生がそろばん学習に取り組んでいて、市長、教育長にも見ていただき、子どもたちは努力して、課題に取り組み、後日認定書も出していただいたようで、特に喜んでいた。

(2)事務局からの報告事項

事 務 局 長 : 秩父市議会3月定例会の結果について、報告する。

市議会3月定例会は予定通り2月26日に開会し、3月17日まで、21日間の会議で開催された。今議会に付議された議案は全て原案通り可決された。これにより、先月の教育委員会で報告をした大田中学校大規模改造工事の契約締結案件や新年度当初予算についても無事可決された。

次に3月10日、11日、12日の3日間に行われた市政に対する一般質問では、10人の議員が一般質問を行った。そのうち教育委員会に対しては5人の議員から質問を受け、質問内容としては、1人目は、新たな教育振興基本計画と教職員の健康についてと題して、内容は国の教育振興基本計画を踏まえて、2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の担い手育成と日本社会に根ざしたウェルビーイングの向

上について、どのような方針で取り組んでいるのかという抽象的な質問であった。また、教職員の健康については、ストレスチェックの内容と結果、今後の課題、高ストレス者への対応についてであった。2人目は学校給食費無償化についてと題して、内容が、給食費の無償化を新年度に予算化したが、改めてその確認のための質問であった。3人目は学童保育室の今後についてと題して、内容は、朝の子どもの居場所作りについてのアンケート結果、学童保育室担当の正規職員の増員、学童保育料の値上げに関する質問であった。4人目の方は教育委員会としての将来ビジョンに関する質問であった。最後5人目は、中学校の通学カバンの自由化と通学カバン購入に対する補助金ができないかという質問と、児童生徒1人1台端末の故障の状況と修理にかかる保険対応の状況等という内容であった。答弁書を報告資料としてお手元に配付しているので、後ほどご覧いただければと思う。

また議会最終日には、教育委員の任命と人事案件5件が追加上程され、それぞれ同意に承認された。これにより、これまで大変お世話になった大島委員の任期が本年5月24日で満了となるため、後任の教育委員には根岸和美氏が教育委員になることに決まった。

学 校 指 導 監 : 1点報告する。

教職員事故の再発防止についてである。

2月21日と3月11日に、本市で起きた交通事故に係る県の懲戒処分があった。事務局としては、このことを大変重く受け止めており、2月25日に市の臨時校長会を開催した。教育長から、訓示をいただき、また、学校指導監から再発防止に向けた取り組みについて、全校長に一時伝達をした。今後も適宜、管理職へ再発防止に向けた指示を出して、市内小中学校全教職員の危機意識をより一層高めていく。また、今回の事故を含め具体的な事案を取り上げて、この事故は何が原因だったのか、どうすれば防げたのか、そういったことを考えさせる。また、事故を起こすときの心理と行動面で自分ごととして、考える研修を各校さらに充実させて、再発防止と事故の絶無に尽力していきたいと考えている。そして失った信頼については地道に信頼回復、市民の信頼回復に努めていきたい。

保 健 給 食 課 長 : 2点報告する。

1点目、今年度の給食の提供について、大きな事故等もなく、3月24日(月)で、小学校、中学校全て終了した。今年度は物価高騰等のあおりを受けて、米をはじめ、食材の購入など苦慮したところもあるが、予算内で提供することができた。令和7年度新学期の給食の提供であるが、小学校は4月10日、中学校は学校により4月9日か10日からとなっている。

2点目、2月の感染症の発生報告である。1月との比較になる。新

型コロナウイルス感染症であるが、小学生は15人(前月比増減なし)。中学生は5人(前月比11人減)、合計は20人(前月比11人減)。インフルエンザについては、小学生は61人(前月比167人減)、中学生は10人(前月比57人減)、合計71人(前月比224人減)。マイコプラズマ肺炎は小学生は2人(前月比1人減)、中学生は2人(前月比4人減)、合計4人(前月比5人減)。

3月の学級閉鎖は、3学級である。全て原谷小学校で5年生で2クラス、4年生で1クラスであるが、今月の内訳であるが、コロナが流行ってきている。

続いて、本日欠席している教育総務課長より教育総務課の報告事項を預かっているので、報告する。

令和7年度に予定している学校施設大規模改造工事について、2点報告する。

1点目、大田中学校校舎大規模改造工事についてである。

1月の定例会でも報告したとおり、本年1月14日に開札を行い、1月23日に仮契約を締結した。その後、3月議会で工事請負契約の締結が議決され、3月19日に本契約を締結した。工事請負金額は316,800千円で、工事請負業者は、守屋八潮建設株式会社である。

2点目、尾田蒔中学校体育館大規模改造工事についてである。

3月4日に開札を行い、無事落札された。3月13日に工事請負契約を締結し、工事請負金額は132,550千円で、工事請負業者は、守屋八潮建設株式会社となっている。

今後、建築住宅課や学校、請負業者との協議を進め、工事に向けた準備期間を確保したうえで、来年度の夏休み期間中に、集中的に工事を実施したいと考えている。

学 校 教 育 課 : 2点報告する。

1点目、就学援助費の入学前支給についてである。

就学援助制度とは、経済的な理由により、公立小中学校へ就学させることにお困りの家庭に対して、学用品費、給食費、修学旅行費などの費用を市が援助する制度であるが、以前は、学用品や校外活動費と合わせて入学前支給を9月に支給したものを、平成29年度に入学前の3月に前倒しをして、支給を行っているものである。小中学校への入学の児童生徒に対し、新入学児童生徒学用品費として、小学校については1人当たり57,060円を39人に、中学校については新入学児童生徒学用品費として1人当たり63,000円と、制服購入費1人当たり8,000円を73人に支給している。今後、この制度の周知徹底を図り、経済的な理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者へ適切な支援をしていきたいと考えている。

2点目、令和7年度の小学校入学時の保護者へ入学準備金ランドセ

ル購入補助金の申請状況についてである。3月21日現在で359人中313人からの申請があり、約87%といった状況である。昨年度の同時期が約82%であるので、若干増加傾向である。本事業は、子育て支援策として、秩父市経営方針に掲載の事業であり、申請者の増加が求められる中、毎年少しずつではあるが増加してきており、定着してきている。引き続き周知徹底を図っていく。

文化財保護課長 : 2点報告する。

1点目は、新たな文化財の県指定についてである。

3月11日（火）開催の埼玉県教育委員会において、「秩父山地のニホンオオカミ標本」として秩父宮記念三峰山博物館に収蔵されているニホンオオカミの毛皮標本2点が埼玉県指定天然記念物の新規指定を受けることが決まった。ニホンオオカミは、明治38年（1905）に奈良県で捕獲された個体が最後の記録とされる絶滅危惧種で、残されている標本も非常に少ない状況である。秩父地方では古くから毛皮や頭骨を魔除けに使っていた他、三峯神社をはじめオオカミを祀る神社が複数あるなど、地域の信仰や生活文化においてオオカミは深い関わりを持っている。今回、指定された理由としては、今後、ニホンオオカミの形態や生態等を研究する上で比較的狭い範囲でまとまった資料が残されていることが挙げられており、この毛皮標本の他に長瀬町・ときがわ町に残されている頭骨標本も併せて指定となっている。なお、秩父市の文化財の件数であるが、今回の指定物件を合わせて、登録有形文化財を加えた国の文化財が40件、県の文化財が1件増えて56件、市の文化財が195件で総計291件となっている。

2点目、5月25日、秩父ミューズパークで行われる「全国植樹祭」に合わせた記念事業の開催についてである。

植樹祭の開催に合わせて、その機運の高揚と街なかの賑わい創出を目的として、秩父祭・川瀬祭の笠鉦・屋台の一斉飾置きを計画している。現在、詳細について各笠鉦・屋台町会及び関係各位と調整を図っている段階である。来月の教育委員会で改めて詳細について、ご報告・ご案内させていただく。

教育研究所長 : 2点報告する。

1点目、市教育支援センター「ひまわり教室」の修了式が、3月12日に下郷児童館2階教育相談室で行われた。中学3年生5名、中学1・2年生9名、小学生4名の計18名が、学習の遅れを取り戻すための学習支援や各種の体験活動、体力向上、コミュニケーション能力の向上等の活動を行い、1年間の活動を終えることができた。式中の子どもたちの緊張した面持ちの中にも、1年間通級し、取り組んできた充実感、相談員の先生方との別れが近づき、さみしそうな表情などが見受けられた。また、式終了後には、保護者の方々が相談員の先生へ感謝の言葉を

話している姿を拝見して、保護者の方々の心のよりどころにもなっていたのではないかと、改めて教育相談室の存在の大きさを感じた。教育相談事業については、次年度も教育相談員による「ひまわり教室」通級支援、小中学校の「校内教育支援センター」への訪問支援等、教育相談室と連携した子どもの居場所となる環境の整備・充実に力を入れ、不登校児童生徒対策を推進していく。

2点目、市立中学校の休日の部活動地域移行に向けた方針について、秩父市立中学校部活動地域移行推進協議会条例第3条の規定による、令和6年3月の教育委員会からの諮問に対し、6回にわたる協議会による審議を通じ、会長より別添のとおり答申された。詳細については、お手元の資料のとおりである。なお、会議録については、教育研究所のHPで公開している。今後、この答申内容を指針とし、中学校と地域が連携しながら、休日における子どもの多様な体験の機会を確保できるよう、市教委として仕組みを整え、支援していく。

(3) 補助執行に関わる報告事項

教 育 長 : 補助執行に関わる報告事項は、今回、特にない。

6 議案審議

教 育 長 : 議案第6号を議題とする。事務局に議案の説明を求める。

市民スポーツ課主事 : 議案第6号「秩父市スポーツ推進委員の委嘱について」の提案理由及び説明を述べる。

3 番 委 員 : 推進委員の推薦母体はどこか？

保 健 給 食 課 長 : 地域から選出されて、退任した場合は、その地域で選出することになる。

2 番 委 員 : 3人欠格で17人であるが、次の任期では増員するのか？

市民スポーツ課主事 : 次の任期までに検討したい。

教 育 長 : スポーツ推進委員の上限は何人か？

市民スポーツ課主事 : 規則で60人である。

3 番 委 員 : 偏りなく、推薦をもらい委員を任命した方がよいのではないと思う。

教 育 長 : 他に質問または異議がなければ、この議案を原案どおり可決することとていかがか。

(「異議なし」という声あり)

異議なしと認め、議案第6号は、原案どおり可決した。

議案第7号を議題とする。事務局に議案の説明を求める。

学校教育課長 : 議案第7号「秩父市立幼稚園管理規則を廃止する規則について」の提案理由及び説明を述べる。

(「異議なし」という声あり)

教 育 長 : 異議なしと認め、議案第 7 号は、原案どおり可決した。
議案第 8 号を議題とする。事務局に議案の説明を求める。

学 校 教 育 課 長 : 議案第 8 号「秩父市教育委員会事務局等事務専決規程等の一部を
改正する訓令について」の提案理由及び説明を述べる。

(「異議なし」という声あり)

教 育 長 : 異議なしと認め、議案第 8 号は、原案どおり可決した。

7 協議事項

(1) 後援等について

教 育 長 : 後援等について、説明を求める。

保 健 給 食 課 長 : 別紙のとおり、5 件の協議をお願いする。

3 番 委 員 : 5 番について、小鹿野町教育委員会の後援の確認はとれているのか？

教 育 総 務 課 主 査 : 小鹿野町教育委員会の後援は確認していない。疑義がある場合はほ
かの自治体の教育委員会に照会をすることもあるが、今回は特に照会
等はしていない。

3 番 委 員 : 秩父市の小中学校に周知されて、小鹿野町の小中学校に周知されな
いのは、いかがなものかということになるので、確認をしていただき
たい。

教 育 長 : 質問がないようなので、ここで委員の皆様にお諮りするが、小鹿野
町の教育委員会にも後援申請が出ているか、確認していただくという
ことで、全ての事業について、後援等を承認することideいかがか。

(「異議なし」という声あり)

それでは、今月の後援等について、ただいまのとおり決したので、
事務局には、今後の処理をお願いする。

(2) 4 月教育委員会定例会の日程について

教 育 長 : 定例会の日程について、説明を求める。

保 健 給 食 課 長 : 4 月教育委員会定例会について、4 月 24 日(木)午後 2 時から歴史
文化伝承館 2 階会議室において開催することを御提案させていただく。

(「異議なし」という声あり)

教 育 長 : それでは、4 月教育委員会定例会については、4 月 24 日(木)午後
2 時から、歴史文化伝承館 2 階会議室にて開催する。

8 その他

事 務 局 : 2 点、事務連絡を申し上げる。

1 点目、通知をさせていただいているところであるが、教職員退職

者等辞令交付式を３月３１日（月）午前１１時から、教職員就任式を４月１日（火）午後１時３０分から、それぞれ開催する。委員の皆様には、出席をお願いする。

２点目、秩父地区教育委員会連合会の令和７年度第１回役員会を４月１７日（木）午後２時から歴史文化伝承館５階第１会議室会議室において開催する。大島委員の出席をお願いする。

９ 閉会

教 育 長 ： 他に付議すべきことがなければ、本日の日程を全て終了する。
以上をもって、秩父市教育委員会３月定例会を閉会する。